

八千代エンジニアリングの同期を見つけました！

企業創立や商品販売が当社と同じく今年60周年を迎える企業の広報担当者の方に、誕生秘話、こぼれ話、同期としての想いや抱負などを伺ってきました。



株式会社円谷プロダクション

フマキラー株式会社

株式会社ニュージェック

大日本コンサルタント株式会社

No.4

株式会社円谷プロダクション

創立：1963年4月12日

ウルトラマンシリーズで有名な『株式会社円谷プロダクション（以降：円谷プロさん）』様にインタビュー。当社と同じく企業創立60周年を迎えられました！

「特撮の神様」として語り継がれる円谷英二氏が立ち上げた「円谷特技プロダクション」（現在の「円谷プロダクション」）の歴史や創業時から受け継がれてきた技術力と世にないものを生み出す空想力を活かし、エンターテインメントの制作に取り組む想いを聞くことができました。

詳細はnoteで紹介していますので、ご覧ください！

[詳細はこちら](#)


中央左：円谷プロダクション・広報 北澤淳子様
中央右：円谷プロダクション・広報 加藤まゆ様

No.3

フマキラー株式会社

ペーパーマット発売開始：1963年

殺虫剤で有名なフマキラー株式会社（以降：フマキラーさん）に直撃インタビュー。世界初の電気式蚊取り「ペーパーマット」の発売から60周年を迎えられました！

今でもご家庭の必需品で、人気のロングセラー商品である“ペーパー”シリーズの名は、国内だけでなく、海外での認知度も抜群なのだとか。

そんな人気商品が誕生するまでの秘話や当社の「経営理念」との共通点、これから先に見据えることについてお話をいただきました。

詳細はnoteで紹介していますので、ご覧ください！

[詳細はこちら](#)


フマキラー 菅谷洋子様、川端美虹様

No.2

株式会社ニュージェック

創立：1963年9月21日

当社と同じ建設コンサルタントとして大阪を拠点に活躍されている株式会社ニュージェック（以降：ニュージェックさん）に直撃インタビュー。ニュージェックさんも今年の9月に企業創立60周年を迎えられるため、今回の企画で最年少となるお二人にお話を伺ってきました。

ニュージェックさんのDNAである「くろよんスピリット」の誕生秘話や、社名を変更した理由、働き方改革や人材育成に対するの想いなどお話をいただきました。

詳細はnoteで紹介していますので、ご覧ください！

[詳細はこちら](#)


No.1

大日本コンサルタント株式会社

創立：1963年1月23日

当社と同様に企業創立が60周年となる大日本コンサルタント株式会社（以降：大日本さん）。初回となる今回は、同じ建設コンサルタント業界企業であり、イベントなどでお会いする機会が多い大日本さんを直撃インタビュー。

お互いの創立エピソードや社名の由来、社会インフラを整備する際のデザインに対する想い、そして2023年7月に合併し「大日本ダイヤコンサルタント株式会社」として始動される大日本さんのこれからの挑戦など、ざっくばらんにお話をいただきました。

詳細はnoteで紹介していますので、ご覧ください！

[詳細はこちら](#)

左：ニュージェック 中村様 右：ニュージェック 大迫様

※「黒部の水筒水」は関電不動産開発から販売されているものです。



左奥：大日本コンサルタント 石井勝様 左前：大日本コンサルタント 白石典子様

60

【創立60周年企画】

八千代エンジニアリングの同期見つけました！
第1弾～大日本コンサルタント株式会社～

【創立60周年企画】八千代エンジニアリングの同期見つけました！第1弾～大日本コンサルタント株式会社～

♡ 24

八千代エンジニアリング【公式note】
2023年4月28日 10:00

60周年記念企画として、企業創立や商品販売などが当社と同じく今年60周年を迎える企業の広報担当者の方に、誕生エピソード、こぼれ話、同期としての想いや抱負などを伺ってきました。

初回は、同じ建設コンサルタント業界企業であり、イベントなどでお会いする機会が多い『大日本コンサルタント（以降：大日本さん）』様に直撃インタビュー。

「もしかしたら、同業だし断られるかも…」なんて思っていたのですが、笑顔で了承してくださった、大日本さんの心の広さに感謝です。

結果、お仕事への想いや業界の未来など、建設コンサルタント（の広報）として社会基盤整備に携わる熱い想いを聞くことができました。

♡ 24



1. 当社と大日本さんの創立

2. 互いの魅力について

1. 当社と大日本さんの創立

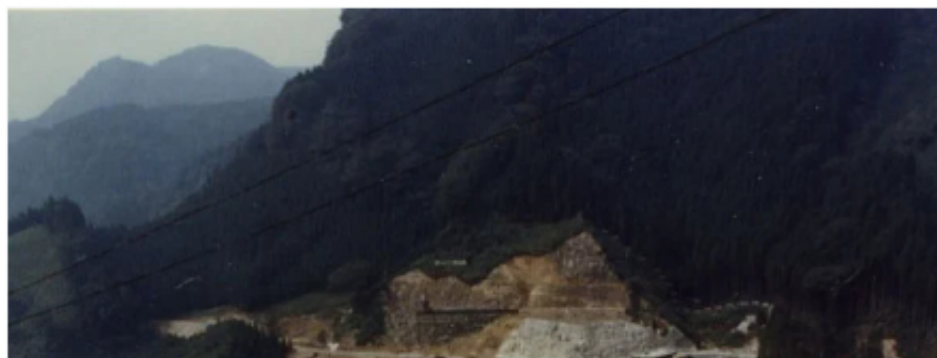
大日本さんは1963年1月に創立され、当社と同時期に創立したことからご縁を感じます。

大日本さんは、大北橋の拡幅設計委託の成約から建設コンサルタントとしての第一歩を踏み出されました。橋梁部門からスタートし、それから道路部門や計画部門へと拡大していき、総合建設コンサルタントとして成長されたそうです。



拡幅済みの大北橋（竣工：1930年）
「大北橋の上部工拡幅補強及び下部工拡幅の設計委託」

一方、創立当初、当社は鹿島建設の当時の会長・社長が中心となり、山梨県の道志川流域の調査や鹿児島県の鶴田ダムの基礎安定調査から始まり、ダムや地質や道路交通など様々な分野の業務での実績を増やしていきました。





下釜ダム（完成：1972年）

両社の創業から現在の事業展開を比べてみると、当社は大日本さんと切磋琢磨した良き仲間であり、ライバルという存在ですね。

▶大日本コンサルタントの沿革については[こちら](#)

▶当社の沿革については[こちら](#)

大日本さんの社名を決める時にこんなエピソードがあったようです。

「当時、日本構造橋梁研究所や日本建設コンサルタントなど、社名に“日本”を付ける同業者が多くいて、だから『日本コンサルタントにしよう』なんて案もありました。でも、『私たちは将来、日本で最大のコンサルタントを目指すのだ！』という強い想いと意味を込めて、頭に“大”を付け、“大日本コンサルタント”に決めたという逸話があります。」

日本を支える、大きな会社になるという信念が感じられる素敵なエピソードです。

ちなみに当社の社名は「千代に八千代に生き続け、未来永劫にわたって人類社会のために貢献し、発展してほしい」という願いを込めて『八千代』と命名されたものであり、略称をyecと定めたそうです。

2. 互いの魅力について

大日本さんの過去の功績を見ていくと、1980年に「大三島橋」で土木学会田中眞作員部門の初受賞から毎年のように土木学会田中眞作員部門や土木学会で、公

TF品部門の初文具かつ母牛のよつに上ノ子去田中具TF品部門の上ノ子去アソイン
賞など橋梁分野で多くの賞を受賞されています。すごいですね！

大日本さんというと、デザイン面で優れた橋梁を多く設計している印象がありますが、大日本さんに景観デザイン室ができたのは80年代後半なのだそうです。

人々の暮らしやその地域の文化を汲み取って、あるべき姿に具現化していくことが技術者の力の見せどころで、大切にしていることなんだそうです。

ドラマのロケ地としても使われている築地大橋（東京都）は大日本さんが計画・設計をされていて、橋を渡る体験を楽しんでもらえるよう、舗装パターンや高欄も曲線が美しく見えるデザインにしたのだそうです。

▶ 築地大橋については[こちら](#)



築地大橋（完成：2018年）
2018年土木学会田中賞作品部門受賞

「土木のデザインは、デザインされていることを利用者が気付かないことがたくさんあると思います」。

と大日本さんがインタビューでおっしゃっていましたが、橋梁や道路などの社会インフラを設計する技術者がどれだけ人々が快適に利用できるように考えることができるかが重要なのだそうです。インフラの設計やデザインの根底には『人を思いやる優しさ』がある、ということをお話してくれる言葉でした！

ちなみにデザインについて当社は、山口県の角島大橋を設計する際に、ただ橋をかけるのではなくて自然と調和させ、景観を丸ごと設計することを意識しましたね。当社も、そこで暮らす人々の文化や守っていききたい景観を壊さず、インフラをつくるのが重要だと思っています。

▶ [角島大橋についての詳細はこちら](#)



角島大橋（開通：2000年）

当社の印象について大日本さんにお伺いしたところ、ニュースやHPなどで見ていると、[ブランド・ロゴ](#)を制作したり、[i-MASTER](#)やTRAVICなどの研究・開発に力を入れていたり“新しいことにどんどん取り組んでいる”イメージだそうです。

「この世界に、新しい解を。」をという長期経営方針（2018-2027年）のビジョンを掲げ、河川・橋梁・港湾などの官公庁事業を主軸としながら、民間向け事業にも挑戦してきたので、そう思っただけなのは嬉しいですね。

これからも挑戦している企業と思ってもらえるように、その姿勢は大切にしていきたいです。

3. これからについて

大日本さんは株式会社ダイヤコンサルタント（以降：ダイヤさん）と2021年7月よりDNホールディングス株式会社を設立され、2023年7月には2社合併し「大日本ダイヤコンサルタント株式会社」として始動されます。

大日本さんの魅力は、やはり橋梁を中心とした構造物の計画・設計。また「手を挙げればやりたいことができる。」といったメッセージを採用ホームページでも出されているように、ボトムアップで経営にも反映できるということ。先程の「[景観デザイン室](#)」も社員の意見からできた部署なのだそうです！

一方、ダイヤさんは地質・地盤の調査や解析などの地質の技術力が高いところが魅力。

合併することで、調査から設計、維持管理までの一連のコンサルタントを展開できるようになるのだとか。また自然災害対策やカーボンニュートルといった新規事業への挑戦や新技術の共同開発なども実施し、「よりよく快適な暮らし」を提

就労先で、その経験やノウハウを、同業他へ積極的に発信し、多くの人々に伝達することで、
供することを目指すのだそうです。

大日本さんに負けず、当社も進化していきたいと改めて思いました。

最後に同じ広報担当者として、どういった想いで日々広報活動を行っているか伺
ったところ「当社のPRも大切ですが、建設・土木が社会にとってどれだけ大切な
ものなのか理解を深めてもらいたいと活動しています。」とのことでした。

建設や土木は人々の生活を支える大切な役目があり、そのことがいろんな人に伝
わっていくことが長期的に見て重要なことですね。土木技術者の全体数が減る中
で、建設・土木業界全体を底上げしていくことが大切だと当社も感じています。
建設・土木関連業界皆が一丸となって取り組むことで、十年、百年、千年先の未
来の解となる取り組みをこれからも続けていきたいと思えます。



創立60周年をお祝いするため、お互いの社名が入ったどら焼きをお渡ししまし
た！





大日本さん、インタビューへのご協力ありがとうございました！

お土産のどら焼きと共に★

大日本コンサルタント：石井 勝様、白石 典子様

#建設コンサルタント

#八千代エンジニアリング

#創立60周年

#大日本ダイヤコンサルタント

#大日本コンサルタント



24



みんなにも読んでほしいですか？

😊 オススメする



2人がオススメしています

オススメした記事はフォロワーのタイムラインに表示されます！ ?



八千代エンジニアリング【公式note】

フォロー

八千代エンジニアリング株式会社 (<https://www.yachiyo-eng.co.jp/>) / 建設コンサルタント / 千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する会社です / 未来を想うすべての人に、誠実に向き合い続け、社会課題を解決する新しい解を生み出します



このクリエイターの人気記事

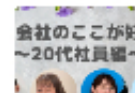
転職・単身赴任ってどんな感じ？経験者にインタビュー！

♡ 63 八千代エンジニアリング【公式note】



私の会社のここが好き！～20代社員編～

♡ 54 八千代エンジニアリング【公式note】




「なぜ今、研究・開発に取り組むのか？事業につながる研究・開発とは!?」トークセッション①開催報告



60

**【創立60周年企画】
八千代エンジニアリングの同期見つけました！
第2弾～株式会社ニュージェック～****【創立60周年企画】八千代エンジニアリングの同期見つけました！第2弾～株式会社ニュージェック～**

♡ 17

 八千代エンジニアリング【公式note】
2023年5月17日 10:00

企業創立や商品販売などが当社と同じく今年60周年を迎える企業の広報担当者の方に、誕生秘話、こぼれ話、同期としての想いや抱負などを伺う60周年記念企画。

初回は大日本コンサルタント様に伺ってきました。第2回目は、当社と同じ建設コンサルタントとして大阪を拠点に活躍されている株式会社ニュージェック（以降：ニュージェックさん）に直撃インタビュー。

ニュージェックさんの創立秘話や社名変更の理由、働き方改革や人材育成の想いについて聞くことができました。東京と大阪で場所は違えど、同業だからこそ分かる“共通の想い”を再認識でき、やはり建設コンサルって、素敵な仕事だと思っていました。

※TOP画像の「黒部の氷筒水」は関電不動産開発から販売されているものです。

▼ 目次

1. 60周年の歴史
2. お互いの共通点と社会貢献についての想い
3. 働く環境について

1. 60周年の歴史

企業創設が当社と同じ1963年であり、今年9月に60周年を迎えられるニュージェックさんは、黒部ダム建設に携わった技術者が集結し創設されたのだそうです。

黒部ダム（黒部川第四発電所）は、戦後復興期の深刻な電力不足を解消するために、火力発電を補う大きな貯水池をもつ水力発電所が必要と考えられ、建設が決断されたそうです。しかし当時、黒部川は豊富な水量と大きな落差から水力発電の適地とされながらも、厳しい自然条件によりダム建設は非常にハードルの高いものでした。「くろよん」（黒部ダム・黒部川第四発電所）の建設をすることに対して、「くろよんの建設は困難だ」と言われていたそうですが、諦めることなくチームでダムの完成を成し遂げた想いや取り組む姿勢を『くろよんスピリット』と名づけ、ニュージェックさんにはこのDNAが創設から60年たった今も変わらず受け継がれているのだそうです。

▶ニュージェックの沿革は[こちら](#)

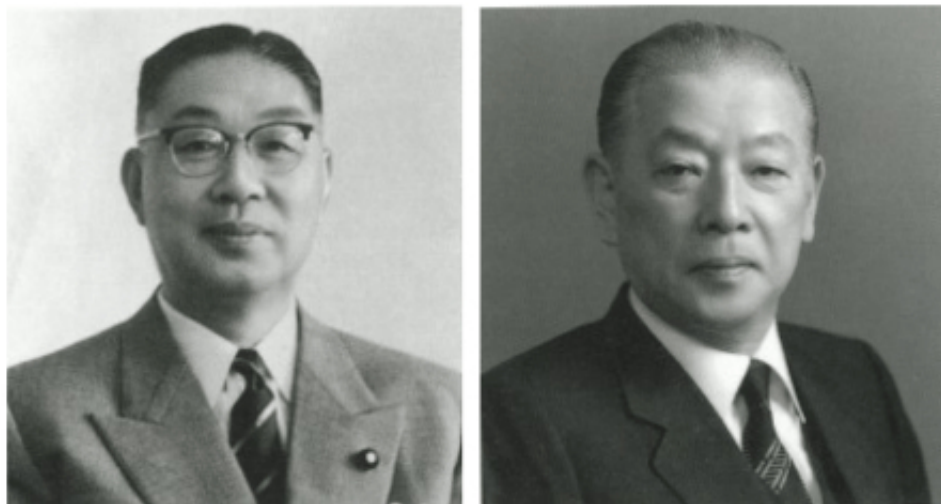


ニュージェックさん
創設当初の入社記念写真

ちなみに当社は、鹿島建設株式会社の会長(当時)故鹿島守之助、同社副社長(当時)故石川六郎が中心となり、海外にも通用する強力なコンサルティング・エンジニ

アリング企業を目指し創立しました。当社にも創立時から「真摯」「誠実」に取り組む姿勢が今でも受け継がれていますね。

▶[当社の沿革はこちら](#)



左：初代取締役会長 鹿島 守之助
右：初代取締役社長 石川 六郎

なお、60年の間のこぼれ話として、ニュージェックさんは1991年に社名を変更されています！

当初は『株式会社新日本技術コンサルタント』という社名でしたが、社名を英語表記にした際「The New Japan Engineering Consultants, Inc」となることから、海外のお客様から「New JEC（ニュージェック）」と呼ばれることが多かったそうです。そこで当時社内アンケートを実施したところ、「ニュージェック」という現在の社名変更賛成多数の意見が集まったことと、海外でも活躍できる企業を目指すため、「ニュージェックにしよう」となったようです。

創立30周年のタイミングで社歌の制作が進められ、歌詞を社内で応募したところ、企業理念に沿った良い歌詞が見つかったそうです。

なんと、社歌を作詞したのは、社員のお子さん（当時小学生）で、大阪本社では現在も1日4回決められた時間に、歌詞ありやメロディーだけなどさまざまなバリエーションで30年間に渡り流れ続けているようです。

コーポレートソング

『地球よ！地球』

作 詞：山本 隆 士
補作詞：植 村 泉
作 曲：大沢みずほ

1. この蒼い地球に 森や林をつくろう
 そして美しい 花を咲かそう
 蝶は舞い 鳥はさえずり
 人々の営みの歌が あふれるように
 地球よ地球…… Oh! Our Earth
 たとえ小さな力でも 心には愛があるから
 We're Livin' with The Earth
 Our Grand Earth

2. この蒼い地球に 川や泉をつくろう
 そして小さな橋を 架けよう
 雲はゆき 魚は泳ぎ
 人々の幸せの歌が あふれるように
 地球よ地球…… Oh! Our Earth
 たとえ小さな力でも 夢に終わりはないから
 We're Livin' with The Earth
 Our Lovely Earth

3. この蒼い地球に 愛の心で満たそう
 そして夢の楽園を 建てよう
 陽は照らし 星はきらめき
 人々のまごころの歌があふれるように
 地球よ地球…… Oh! Our Earth
 たとえ小さな力でも 輝く未来に向けて
 We're Livin' with The Earth
 Our Earth Forever

ニュージェックさんの社歌

2. お互いの共通点と社会貢献についての想い

ニュージェックさんの社員の多くが関西出身だといいます。そのこともあって、社内の風通しは良好なのだとか。「関西のノリじゃないですけど、自由度は高いですね。」なんてことを語ってくれました。

ニュージェックさんの数ある魅力の1つは、若手だろうと先輩だろうと、やりたいと思った仕事にチャレンジさせてもらえるところなのだそう。

しかし、自由度があるが故に、個々に取り組んでいることも多くあったようで、2021年に策定されたニュージェックさんのNJビジョン2050では「共に高め合い、“自然と”生きられる社会を世界に。」が掲げられ、共創パートナーと業容や活動領域・視野を拡げ、技術や企業価値を高めていきたいという想いが込められているのだそう。

▶ニュージェックさんのビジョンについては[こちら](#)

当社もニュージェックさんと同じく社内の風通しは良く、「未来創造ピッチコンテスト」を開催するなど、若手のうちから“挑戦”することを大切にしています。

当社の長期経営方針（2018-2027年）では、「この世界に、新しい解を。」をビジョンとして掲げていて、“千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する”という想いが込められています。

▶[当社のビジョンについてはこちら](#)



ピッチイベントの様子

ニュージェックさんは最近では脱炭素社会の実現を推進するため、水力発電・風力発電・地熱発電に特化した再生可能エネルギーグループを新たに立ち上げたのだそう。

また社内でペーパーレスを実施したり、SDGsに関するアンケートを取られたりしているそうなのですが、アンケートの結果から、SDGsに興味を示す社員が多くいることが分かったんだとか。ニュージェックさんの「自然と人を技術で結ぶ」という企業キャッチコピーには、サステナブルという考え方に近い想いも込められているようで、SDGsが世界的に注目されるよりずいぶん前から掲げられていたため、持続可能な社会を意識することが昔から根付いているんだとか。素敵な文化ですね。

▶[ニュージェックさんのSDGsに関するアンケートはこちら](#)

当社も持続可能な社会を創るために、第2次中期経営計画（2021-2023年）では「サステナビリティ経営」を全社方針に掲げ、SDGsの達成へ貢献すべく、総合建設コンサルタントとしての業務を通じた顧客事業の環境負荷低減、当社グループの電力事業、及び熱供給事業などを通じた社会全体の環境負荷低減に取り組んでいます。2022年にはカーボンニュートラル宣言をし、2027年までにScope1+2、

2050年までにScope1+2+3のカーボンニュートラル達成を宣言しました。

建設コンサルタントの仕事は、人々が安全で豊かな暮らしができるよう、少子高齢化や環境問題など複雑化かつ変動する社会問題を解決することを目指し社会資本整備の支援をしています。そのため、SDGsや脱炭素社会実現を国が宣言する前から“持続可能な社会をつくるんだ！”という意識がこの業界には強くあったように思いますね。

ニュージェックさんの今後の取り組みも楽しみです！

3. 働く環境について

ニュージェックさんは、勤務地指定制度や時差出勤など働き方改革についても力を入れているそうです。最近ではノー残業デーに大阪で活躍するアーティストを招いて演奏するジャズライブを開催し、社員には好評だったんだとか。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めてすぐに在宅勤務制度の導入もされたのだそうです。

しかし現状に満足せず、社員が能力を最大限発揮できるように、時代の変化に合わせて人材教育や新たな制度を導入するなど、今後も更に働き方を見直していかなくちゃいけないという想いがあるようです。



ノー残業デー・ジャズライブ in Osaka

当社も2022年に本店のエントランスをリニューアルし、外国籍や障がい者の方の雇用促進や女性活躍推進法に基づく行動計画の実施、フレックスタイム制度や時間単位で取得できる有給休暇の導入、育休の分割取得、さらには保育園の運営など、働きやすく、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組んでいます。



リニューアルしたエントランス

育児や介護、持病を抱えている方など多様な人材が活躍できる職場づくりに取り組むことが大切ですね。



ニュージェックさんご協力ありがとうございました！

#八千代エンジニアリング

#創立60周年

#ニュージェック

#株式会社ニュージェック



17



みんなにも読んでほしいですか？

😊 オススメする



2人がオススメしています

オススメした記事はフォロワーのタイムラインに表示されます！ ?



八千代エンジニアリング【公式note】

フォロー

八千代エンジニアリング株式会社 (<https://www.yachiyo-eng.co.jp/>) / 建設コンサルタント / 千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する会社です / 未来を想うすべての人に、誠実に向き合い続け、社会課題を解決する新しい解を生み出します



このクリエイターの人気記事

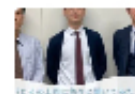
八千代エンジニアリングの公式noteをはじめます

♡ 90 八千代エンジニアリング【公式note】

公式note
はじめま

働くパパとその上司に色々聞いてみた!【テーマ:育休を取得してからの働き方・変化について】

♡ 66 八千代エンジニアリング【公式note】



私の支店、紹介します!【大阪支店】

♡ 62 八千代エンジニアリング【公式note】




60

【創立60周年企画】

八千代エンジニアリングの同期見つけました！
第3弾～フマキラー株式会社～

【創立60周年企画】八千代エンジニアリングの同期見つけました！第3弾～フマキラー株式会社～

♡ 17

 八千代エンジニアリング【公式note】
2023年5月17日 10:00

企業創立や商品販売などが当社と同じく今年60周年を迎える企業の広報担当者の方に、誕生秘話、こぼれ話、同期としての想いや抱負などを伺う60周年記念企画。

第1回目は大日本コンサルタント様、第2回目はニュージェック様に伺ってきました。第3回目は、殺虫剤で有名なフマキラー株式会社（以降：フマキラーさん）に直撃インタビュー。

代表商品である「ペープ®」は今でも老若男女に人気のロングセラー商品です。その名は国内だけにとどまらず、海外での認知度も抜群だそうです。そんな人気商品の誕生から現在まで人気商品に至った経緯とこれから先に見据える未来を聞いてきました。

▼ 目次

1. 当社とフマキラー様との共通点

1. 当社とフマキラー様との共通点

フマキラーさんの看板商品である世界初の電気式蚊取り「ペープ®マット」を発売してから今年で60年を迎えられました。

ペープ®の存在は社内でも特に強い思い入れがある商品だそう。

実は、蚊取り線香に対する「火事の心配」や「煙への不満」など利用者から多くの意見があったことから世界初の電気式蚊取り「ペープ®マット」が誕生したそうなのですが、その開発には10年かかったのだそうです。

蚊取り線香は、煙が出ている少し手前の部分で温度を一定に保たせて薬剤を揮散させることで殺虫剤としての効果が発揮されるそうなのですが、電気式を開発する際に電気で温度を一定に保つ仕組みを考えるのに時間がかかったのだとか。なんと、河原で落ちていたラジオの抵抗体の仕組みをヒントに開発されたそうです。1963年の発売当初、初任給が2万円ほどの時代に350円もする高値で販売しようとしたところ、社内で「高すぎる」と猛反対があったとか。

でも、当時の社長が自身のクビをかけてでも、品質の良さを確信し、売れるという強い思いがあったと言います。結果的に見事に初年度から大ヒットを達成したそうです。

フマキラーさんは今では、国内だけでなく東南アジアを中心に海外にも多く支社があります。特に海外ではマラリアやデング熱など蚊が媒介する感染症が原因で命を落としてしまうひとがまだまだいて、殺虫剤の必要性というのとはどまることがない状況です。

フマキラーさんの経営理念には「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」を掲げているようで、ペープは、単に害虫を駆除するというだけでなく、「ひとの命を守る」という思いが込められているそう。この先もひとの命や暮らし、環境を守る製品として、変わらず成長していきたいと語ってくれました。

当社はいままで約150カ国の国々に対して、社会資本整備に関するコンサルティングサービスを提供してきました。

世界にはまだまだ発展途上国も多く、調査や設計をする際は、その国の文化や暮

らしを知ることからスタートし、交通基盤や上下水道の整備などその場所に合った社会インフラの整備や復興支援業務に従事していますが、当社も人々の健やかな暮らしを守り、さらにはひとの命を“守る”という意味では、想いは同じです。

フマキラーさんの社風には「誠魂長才」という言葉があって、誠心誠意“まごころ”を持って世に貢献していくという意味があるそうです。

この言葉は「真摯に業務に向かい、顧客の信頼に誠実に応える。」という当社の経営理念の内容ともよく似ています。

▶[当社の経営理念はこちら](#)

言葉は違えど、想いは同じですね。



海外のベープ®シリーズ
東南アジアを中心に世界約70か国に商品が展開されています。

2. 未来へ繋げる（SDGs）取り組みについて

フマキラーさんは、ベープの商品開発や販売だけでなく、社会貢献活動の一つとして“育む環境”にとっても力を入れられていて、20年前にフマキッズこども研究所を立ち上げたそうです。そこでは、子どもたちが虫や植物に関することを学べる場を設けられています。

また、熟食など昨今の生活様式の変化により、食事を通じたひととひとのつながりが希薄になってきていると感じているそう。そこで、除菌剤・消毒剤を活用して「つくっ手たべ手プロジェクト」を2022年4月に始動したとか。

このプロジェクトは、除菌・消毒に気を付けながら、ひとと繋がりを持って楽しく食べてほしいという想いからスタートした企画です。

▶つくっ手たべ手プロジェクトについては[こちら](#)



つくっ手たべ手プロジェクト
2022年4月より開始

当社もプラントベースドフード※を起点に様々な社会・環境課題に触れ、SDGs達成のための取り組みを学ぶという食育プログラム「[食べて学ぶSDGs](#)」に2021年から取り組んでいます。

その内容は、全国の中学生へ出前授業を行うもので、牛を育てるのにどれだけ環境に負荷がかかっているかなど「食と環境」のつながりを座学・グループワークを通じて知ってもらう機会を設けています。そこではプラントベースドフードを販売している企業とコラボして、大豆ミートを使用したカレーなどプラントベースドフードを子どもたち自身が調理し、食べてもらうということもしています。

環境を守ることで、ひとが守られて、暮らしが守られ、循環していく。

当社はこれからも環境に関する知識や知見を多くの人に認識してもらい、人々が快適に暮らせる社会をつくることに貢献していきたいですね。

※プラントベースドフードとは

全て（または大部分が）植物由来原料から作られた食品。ベジタリアンの人だけでなく、健康のために食事の一部に取り入れる人や、地球環境への配慮からプラントベースドフードを選択する人が増えており、世界中で注目されています。特にプラントベースドフードの代名詞である大豆ミートは、ここ数年日本でも様々な商品が登場しスーパーやコンビニでも気軽に購入できるようになりました。



食べて学ぶSDGsの授業の様子

3. これからについて

現在、社会課題の一つとして地球温暖化による特定外来生物ヒアリなどの被害が深刻化する中で、フマキッズこども研究所でも過去から変わらず伝えていることがあるそうです。

それは、「フマキラーは決して虫を殺したい会社ではない」ということ。

害虫という言葉は、人間側からの視点なだけであって、生態系の一部で見たら虫たちにもきちんと役割があります。

「じゃあ、なぜ殺すのか？」という、やはり人間が生きていく中で、虫に刺されたことが原因で病気になったり、亡くなってしまったりする害があるから。フマキラーさんは、そういった問題を減らしたいという想いのもと、製品開発を行っていますが、基本的には植物も虫もひとも生態系の一部として共存することを目指しているのです。

当社も自然と共存していくために、技術開発など日々挑戦を続けています。ひとと環境の両方を知りどちらも尊重する『人と自然が共生する世界』をつくっていくことが、世界的に求められています。よりよく循環する世界を未来へと繋げていくことが、未来ある子どもたちのために、私たちがやるべきことであると、改めて実感できるインタビューでした。



フマキラーさん、インタビューへのご協力ありがとうございました！
フマキラー株式会社：菅谷洋介様、川端美虹様

#八千代エンジニアリング

#フマキラー

#創立60周年

#フマキラー株式会社



17



みんなにも読んでほしいですか？

😊 オススメする



2人がオススメしています

オススメした記事はフォロワーのタイムラインに表示されます！



八千代エンジニアリング【公式note】

フォロー

八千代エンジニアリング株式会社 (<https://www.yachiyo-eng.co.jp/>) / 建設コンサルタント / 千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する会社です / 未来を想うすべての人に、誠実に向き合い続け、社会課題を解決する新しい解を生み出します



このクリエイターの人気記事

60

【創立60周年企画】

八千代エンジニアリングの同期見つけました！
第4弾～株式会社円谷プロダクション～

【創立60周年企画】八千代エンジニアリングの同期見つけました！第4弾～株式会社円谷プロダクション～

♡ 28

八千代エンジニアリング【公式note】
2023年5月30日 10:00

企業創立や商品販売などが当社と同じく今年60周年を迎える企業の広報担当者の方に、誕生エピソード、こぼれ話、同期としての想いや抱負などを伺う記念企画。3回目のフマキラー様に続き第4回目となるラストは、ウルトラマンシリーズで有名な『株式会社円谷プロダクション（以降：円谷プロさん）』様にインタビュー。

「特撮の神様」として語り継がれる円谷英二氏が長年の技術力を活かし立ち上げた「円谷特技プロダクション」（現・円谷プロダクション）。

創業時から受け継がれてきた技術力と、世の中になくものを生み出す空想力を活かし活躍される円谷プロさんの、エンターテインメント会社としての想いや姿勢を聞くことができました。

▼ 目次

1. 空想力・創造力がキーワード
2. 受け継がれる技術

1. 空想力・創造力がキーワード

1963年4月に創立された円谷プロさんは、当社と同じく今年で60周年を迎えました。

18歳で映画界に足を踏み入れて以降、持ち前の発想力で撮影技術を磨くとともに様々な撮影技術を開発し、映画会社の東宝では、怪獣映画『ゴジラ』などで特撮シーンを担当して（後に特技監督として）大ヒット作を生み出みだした円谷英二氏。次は映画に代わり、人々の娯楽として定着し始めていたテレビに注目し、映画で培ってきた技術で、今度はテレビを観ている人々に喜びや驚きで釘付けにしたいという思いから創立したのが「株式会社円谷特技プロダクション」（現在の「株式会社円谷プロダクション」）なのだそう。

初の製作作品である『ウルトラQ』（1966年1月放送スタート）は、本来映画の撮影で使用する機材や技術、熟練スタッフとともに、若いスタッフが切磋琢磨して撮影や編集にこだわったのだとか。それもあって、作品は評判となり、日本中に“怪獣旋風”を巻き起こしました。





円谷英二氏

創業者である円谷英二氏は「観ている人たちに喜びや驚きを与えたい。その喜びや驚きを糧に、想像する喜び、未来に向かう希望、平和や愛を願う優しさなどを育ててもらいたい。」というビジョンを掲げ、常に“空想力”をもって、新しいエンターテインメントを世に出すことを大切にしていたそうです。円谷英二氏が大切にしている空想力は現在にも受け継がれていて、代表作品のウルトラマンシリーズは今もなお世代を超えて愛される作品となっていますよね。2022年5月には映画『シン・ウルトラマン』が公開されましたが、1966年に放送されたものを現代版にアレンジしたもので、原点の『ウルトラマン』を知らない世代でも、知っている世代でも楽しめるような工夫が細部にまで施されています。私も今回初めてウルトラマンを見ましたが、終始ワクワクしながら見ていました！まだ観ていない方は、是非観てみてください！

▶円谷英二氏については[こちら](#)

▶映画『シン・ウルトラマン』については[こちら](#)



Blu-ray & DVD 好評発売中の『シン・ウルトラマン』
Blu-ray2枚組：5,280円/DVD2枚組：4,180円
発売元：円谷プロダクション 販売元：東宝
©2022「シン・ウルトラマン」製作委員会 ©円谷プロ

円谷プロさんの企業概要ページを見ると、空高くかける飛行機がメインビジュアルに使用されており、“創造性”と“革新的”といったキーワードが発信されていて、当社のビジョンやブランド・ロゴとビジュアルから似ています！

▶円谷プロさんの企業概要は[こちら](#)



円谷プロさん企業ホームページ

▶当社ビジョンについては[こちら](#)





当社の企業ホームページ

円谷プロさんのこのビジュアルには、円谷英二氏が飛行機乗りには憧れていたこと、そして円谷プロダクションの持つ『創造性豊かで革新的な作品、商品、サービスを通じて勇気と希望を世界中の人々に届ける』企業を目指す、という想いが込められているそうです。

一方当社は、『これまでの先輩方が技術力と創造力をもって、人々が快適に暮らせる社会を創造してきたから今があり、これから百年、千年後に続く未来を創るためには、建設コンサルタントの枠にとらわれずに挑戦を続けることが必要』という想いから「この世界に、新しい解を。」というビジョンを掲げています。また、ブランド・ロゴには社員一人ひとりが創造力で描いた「新しい解」の設計図が、紙飛行機となって未来の社会に届いていくことを表しています。

はるか昔の人々は、空を飛んで移動できる飛行機が当たり前になるなんてことは考えもしなかったと思います。しかし、飛行機や車、エスカレーターなど先人の空想から生まれたものが現実になり、今では当たり前のように活躍していますよね。空想や創造には未来を変えていく力があるように思います。

円谷プロさんとの今回のインタビューでは、創業時に大切にしていた『空想力・創造力』が、今、まさに社会を変えていくということに必要な企業DNAであると再認識できる機会となりました。

2. 受け継がれる技術

「特撮」といわれる撮影技術や技法の多くは、円谷英二氏が発想し、作り上げ、定着させてきたそうです。当時、円谷氏の築いた特撮の技法は世界にも類を見ない手法で、日本発で生み出した技術が少なくないと言われます。

代表作品でウルトラマンシリーズは、その初期シリーズからミニチュアを巧みに使う撮影スタッフたちの技量の高さ、セット美術の徹底的な精密さなどが相まって、まるで実際に体感しているかのような臨場感のあるエンターテインメント性に溢れる映像で、当時の子どもたちを熱中させました。

そんな一世を風靡したシリーズの誕生から半世紀を超えた今も、特撮の技術や技

法は受け継がれていて、映画『シン・ウルトラマン』などにも取り込まれている
そうです。

また円谷プロさんは「円谷英二の特撮は受け継がれていくべき技術の一つではあ
りますが、映像やデジタル・イベントなど様々な手法を使ったコンテンツでもっ
とお客様に楽しんでいただけるような挑戦を行っていきたい。」と語ってくれま
した。

円谷プロさんのチャレンジングな姿勢も変わらず現在にも受け継がれています
ね。

一方、当社も1963年1月の創立からこれまで総合建設コンサルタントとして着実に
技術力を高めつつ、変化を恐れず進んできました。特に、1973年から1982年にか
けての10年間は品質向上に積極的に取り組み、当社の調査・設計～維持管理に対
してお客様に満足していただくため、社員一人ひとりが技術研鑽に励みました。
そのおかげもあり、今では国土交通省の業務表彰や土木学会デザイン賞など毎年
多くの外部表彰を受賞できるほどになっています。

これからも創立時から受け継がれた技術力で、変化を恐れず数々の社会資本整備
や社会価値創造に貢献し、人々の生活や安心に寄与していきます。

人々の快適な生活を支える当社と、見る人の心を豊かにする円谷プロさんは、ジ
ャンルは違えど共に社会を支える同志といえますね。



3. 子どもたちへ伝えたいこと

円谷プロさんは、「ウルトラマンを通じて子どもたちに伝えたいことは、ヒーロ

「ヒーローとは単に悪を倒すということだけではない」と言います。ウルトラマンシリーズでは、怪獣が生まれる背景には自然破壊や環境汚染といった社会課題も関わっていると説明しています。例えば、「バルタン星人」は、彼らの故郷バルタン星が正気を失った科学者の核実験によって壊滅したため、たまたま宇宙旅行中だった20億3,000万人の「バルタン星人」が故郷を失ってしまい、宇宙船の修理のために立ち寄ったのが地球を訪れた最初の目的だった、という設定です。その背景には当時問題となっていた核開発問題や移民問題があるのだそう。

円谷プロさんは「社会課題をエンターテインメントのなかで要素として取り入れることで、未来を創っていく子どもたちが社会課題を知るきっかけの一つになればうれしいです。そこにも創業者・円谷英二などウルトラマンシリーズの礎をつくった者たちの想いが込められています。」と語ってくれました。



バルタン星人

当社もダムや道路などの社会インフラ整備だけでなく、ブルーカーボン生態系の保全や海洋プラスチック問題への取り組み、海岸や河川環境など環境保全にも取り組んでいます。また、社会価値創造の観点から、社会課題を解決に導くさまざまな事業を行っていますが、「持続可能な社会づくり」が現在の私たちに課されている使命と感じています。

当社と全く違う事業を行う円谷プロさんですが、そこには思いもよらぬ共通点と発見がたくさんあったインタビューでした。

ウルトラマンシリーズは円谷英二氏たちの空想力が作り出したエンターテインメ



- #円谷プロ
- #ウルトラマンシリーズ
- #八千代エンジニアリング
- #円谷プロダクション
- #創立60周年

28 ...

みんなにも読んでほしいですか？

オススメする

1人がオススメしています

オススメした記事はフォロワーのタイムラインに表示されます！



八千代エンジニアリング【公式note】

フォロー

八千代エンジニアリング株式会社 (<https://www.yachiyo-eng.co.jp/>) / 建設コンサルタント / 千年先に続く未来を、挑戦の文化で実現する会社です / 未来を想うすべての人に、誠実に向き合い続け、社会課題を解決する新しい解を生み出します



このクリエイターの人気記事

働くママが集まって色々話してみた!【テーマ:仕事と育児の両立】

♡ 85 八千代エンジニアリング【公式note】



働くパパとその上司に色々聞いてみた!【テーマ:育休を取得してからの働き方・変化について】

♡ 66 八千代エンジニアリング【公式note】



転職・単身赴任ってどんな感じ?経験者にインタビュー!

♡ 63 八千代エンジニアリング【公式note】

